



# 感染症週報



## 小笠原での流行状況

第43週（10月20日から10月26日まで）

父島 特別な感染症の報告はありませんでした。

母島 特別な感染症の報告はありませんでした。

※ 5例以上発生時に実数報告としています

## 東京都全体での流行状況

第41週（10月13日～10月19日）

### 【警報・注意報】

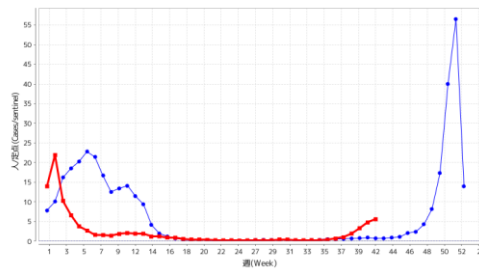
なし

### 【ピックアップ】

★増加しています

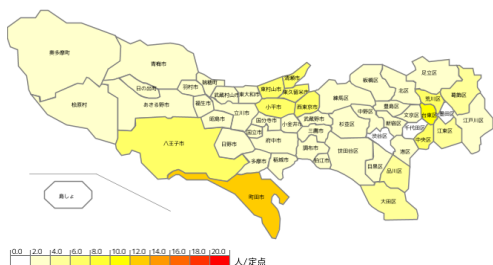
・インフルエンザ

（定点患者報告数 5.59）



(C)2002-2025 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

東京都内における定点当たり患者報告数の年別推移



都内の保健所別定点当たり患者報告数(第42週)

## 感染症メモ

災害時、避難所では子供やペットへの配慮が後回しになりがちです。感染症の拡大を防ぐためにも、事前の準備が大切です。子供向けには、マスク・消毒液・体温計・常備薬のほか、安心できる玩具や絵本があると心の支えになります。ペット用には、フード・水・トイレ用品・リード・ケージ・ワクチン証明書のコピーを用意。避難所の受け入れ可否も事前に確認しておきましょう。避難生活のストレスは感染症リスクを高めるため、精神面のケアも重要です。家族構成や健康状態を記した「家庭用健康カード」があると、避難所での対応がスムーズになります。アレルギーや持病の情報は必ず記載しましょう。日常の延長にある備えが、いざという時に家族を守ります。



## 感染症と災害

～ 小笠原での備え



ここ近年、予想を超える規模の被害が発生するようになっていきます。小笠原では災害時、船便の欠航などで、医療資源や物資の供給が途絶える可能性があります。災害時には避難所での感染症拡大リスクが高まり、特に高齢者や持病のある方への配慮が重要です。日頃からの備えで命を守りましょう。

まず、災害別の避難経路を確認しましょう。村が配布するハザードマップを活用し、自宅や職場からの避難ルートを家族や従業員と共有しておくことが大切です。小規模事業主は、従業員の健康管理や避難時の連絡体制も整えておきましょう。

### 小笠原で平時から備えておきたい物品

#### マスク・消毒液・体温計

使い捨てマスクは1人1日2枚×2週間分を目安に。消毒液はアルコールタイプと次亜塩素酸タイプを使い分けると◎。常に余裕を持って備蓄しておきましょう。

#### 携帯トイレ・衛生用品

携帯トイレは1人1日3回×3日分＝9個以上を目安に。ウェットティッシュ、トイレトイレットペーパー、生理用品、ゴミ袋も忘れずに。要介助者は、折りたたみ式の軽量補助具、使い慣れた介護用品を非常用袋に入れておきましょう。

#### 保存食・飲料水

1週間分を目安に用意しましょう。水は1日3L×7日分を目安に。保存食は缶詰・レトルト・乾パン等。高齢者の場合、ゼリー飲料、栄養補助食品、経口補水液などを普段からローリングストックしておきましょう。

#### 発電機・蓄電池

家庭用ポータブル電源（蓄電池）があれば、スマホやLEDライト、小型ラジオなどを充電できます。ソーラーパネル付きなら長期対応も可能です。懐中電灯も便利です。

#### 常備薬・健康保険証のコピー

最低1週間分の常備薬を。保険証のコピーは防水ケースに入れましょう。お薬手帳の携帯、服薬履歴やアレルギー情報もメモしておくことで安心です。



災害は「想定外」が常です。だからこそ、備えは「想定以上」に。感染症と災害の両方に備えて、地域全体の安全につなげましょう。

習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所